Next Commons Lab

南 相 馬

ネクストコモンズラボ
南相馬
活動報告

2022年度

ごあいさつ

Next Commons Lab 南相馬は、移住者を募り、
南相馬に拠点を移したメンバーとともに
地域の課題や資源に焦点をあてたプロジェクトを推進する、
南相馬市の事業です。
南相馬市民のみなさまのご支援・ご協力を賜り、
Next Commons Lab南相馬事業も６年が経過いたしました。

１年目の資源・課題のリサーチから事務局メンバーの募集・着任、
２年目からの起業家募集・着任、
起業に向けた各プロジェクトの推進や地域の方との交流など、
拙いながらも歩んできた道のりを振り返ると、
決して平坦ではなかったことが思い出されます。
壁や課題にぶつかる度、事業コンセプトである
「予測不能な未来を楽しもう」を大切にしつつ向き合ってきたことが少しずつ形となり、
まちの事業者として市民のみなさまに提供できるサービスが増えてまいりました。

この冊子では、起業型地域おこし協力隊として移住した
メンバーが 推進するプロジェクトの活動報告と、
今後の展望についてお伝えします。

Next Commons Lab
南 相 馬

CONTENTS
目次

ごあいさつ …… 2
目次 …… 3
NCL南相馬とは …… 4
NCL南相馬の歩み …… 6
プロジェクト / ラボメンバー 事業紹介
01 haccoba -Craft Sake Brewery- …… 8
酒づくりをもっと自由に
02 Horse Sharing …… 10
馬の社会価値を高める
03 Local System Engineer …… 12
まちのIT屋さん
04 Pukupuku Brewery …… 14
お酒を通して浜通りに田畑を増やす
05 Handsewn Shoemaker …… 16
人生を共に歩む靴づくり
新メンバー紹介！ Drone Art Management …… 18
地域に広がるコミュニティの輪 …… 18
事務局紹介：小高ワーカーズベース …… 19
NCL南相馬　質問リレー …… 20
市民交流イベント …… 23

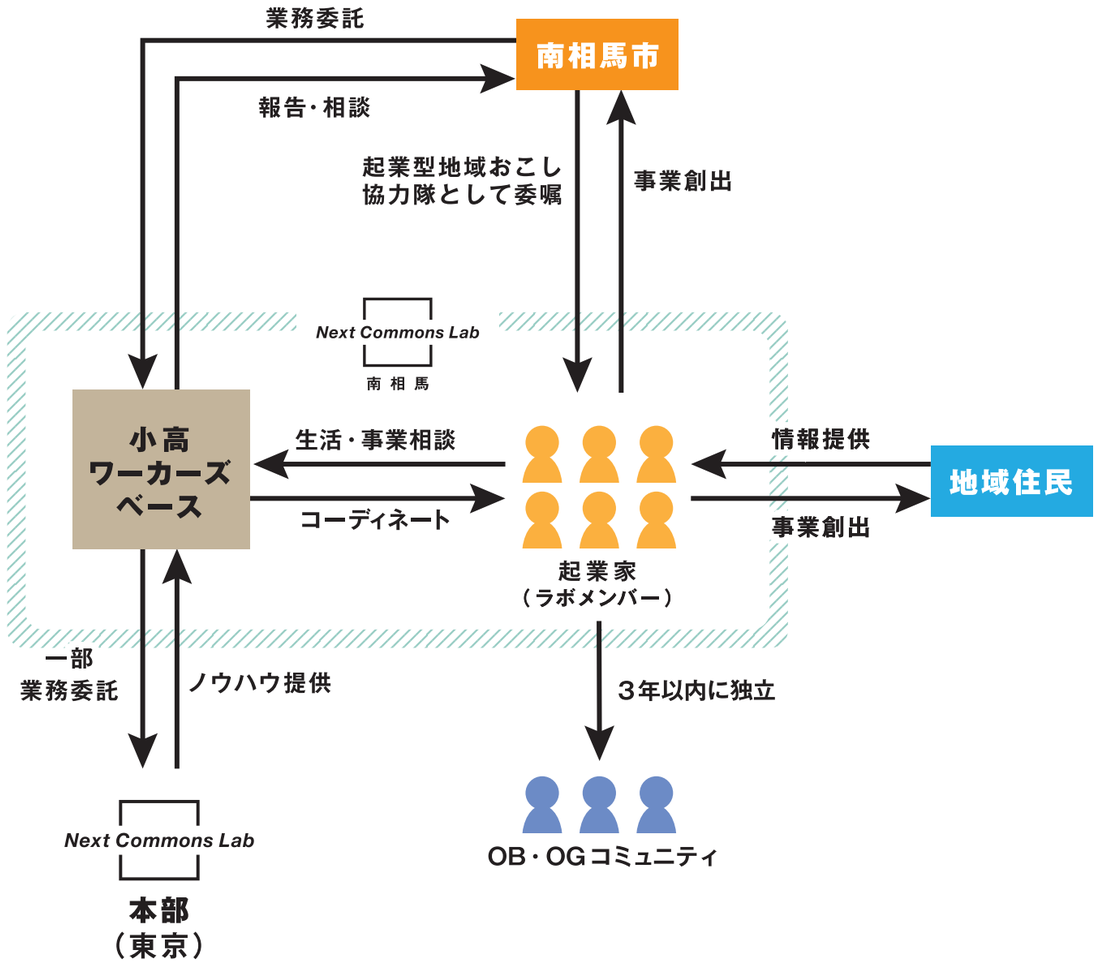
予測不能な未来を楽しもう

今、わたしたちは予測不能な未来に向かって生きている。
だからこそ、先の見えない不安よりも、
限りない可能性を楽しみ、想像力と実践をもって、
望ましい未来をつくっていきたい。
だれもがアイデアをカタチにし、挑戦できる場をつくる。
ひとつひとつの行動が次世代へと続き、新たな社会への道筋となっていく。
この予測不能な未来を楽しもう。
自分たちの手で未来を発明しよう。

Next Commons Lab 南相馬（以下 NCL 南相馬）とは、全国で地域おこし協力隊を活用したプロジェクトを推進している一般社団法人 Next Commons Labと協働し、地域課題の解決や地域資源の活用を目指したプロジェクトを推進する、南相馬市の事業です。

具体的には、生産年齢人口の流出や空き家・空き地などの増加といった地域の課題の解決と、商売が両立する持続可能な“なりわい”をつくることを目指しています。

プロジェクトを推進する起業家（ラボメンバー）と、起業家の活動を支援する事務局で構成され、全員南相馬に拠点を持って活動しています。



NCL南相馬についての疑問にお答えします！

Q1 「起業型地域おこし協力隊」と「地域おこし協力隊」の違いとは？

A1 「地域おこし協力隊」は、主に自治体が定めた特定の事業に取り組むことが多く、市の契約職員などになる場合が多数です。その反面、「起業型地域おこし協力隊」は、隊員が自由にやりたい事業に独立して取り組み、市から委嘱を受けて個人事業主として活動するケースが多くなります。

Q2 ラボメンバーやコーディネーターは3年間の任期満了後、NCLとのかかわりはなくなるの？

A2 協力隊の任期終了後も、NCL南相馬の拠点である小高パイオニアヴィレッジを活用することにより、３年間培ってきたノウハウを生かしながら、他の協力隊のプロジェクト等との関わりを検討していきます。さらに、全国の NCL ネットワークを活用し、他地域とのコラボプロジェクトを模索していきます。

Q3 小高ワーカーズベースとNCLってどういう関係なの？

A3 NCL 南相馬事業を南相馬市から受託している企業が、株式会社小高ワーカーズベースです。NCL南相馬の事務局を運営しており、ワークスペースの提供や地域とのつなぎ、メンバーの伴走などを担っています。

Q4 NCL南相馬と他の地域のNCLの違いは？

A4 拠点ごとに運営方法は違いますが、NCL 南相馬は現地企業の株式会社小高ワーカーズベースが運営に協力している点が他拠点と大きく違います。コーディネートの範囲が広くなったり、地域とのつながりがより強固になるなど、目的を共有している現地企業と協力することで、できる支援の幅が広がります。

Q5 NCL南相馬は一体何をしているの？

A5 起業家の活動の支援を通して、地域の振興・発展に寄与します。具体的には、地域課題の解決や地域資源の活用にフォーカスしたプロジェクトの設計、起業家の募集・採用、起業家の着任・活動・広報サポート、地域とのつなぎ、他企業との連携などが主な業務です。

Q6 どういう基準で起業家の採用を決めているの？

A6 応募の段階で事業企画書を提出いただき、事業を通して実現したいビジョンが明確にあることや、具体性、起業家自身がそのプランを実現する必然性などを見て選考しています。面接では、「楽観的である」「関係者を巻き込める」「ビジョンを伝えられる」などの基準で、事業に臨む姿勢を見て採用の判断をしております。

History

NCL南相馬の歩み

2017 年にコーディネーターの募集を開始してから約 6年間、事務局発足から、南相馬の資源活用や課題解決にフォーカスしたプロジェクトの提案、そして起業家の募集・着任に至るまで、様々な取り組みを地域内外で行ってきました。採用説明会や地域に密着したマルシェイベントの開催、住民の方々との交流など、その活動は多岐にわたります。本ページでは、それらの活動の一部をご紹介させていただきます。

2017

1月 南相馬市で「地域おこし協力隊」制度を使った地域課題解決型プロジェクトの導入を検討。
NCL遠野に視察。

6月 市役所職員で地域の課題や資源を棚卸するワークショップを開催。

9月 NCL南相馬スタート。
コーディネーター募集開始。

2018

2~4月 3人のコーディネーターが着任。

6月 ラボメンバーの募集開始。

8月 NCL全地域が集まるカンファレンス開催。

10月 おだか秋まつりに出店。

2019

1月 活動拠点小高パイオニアヴィレッジ、プレオープン。

4月 ラボメンバー第一陣の着任。

小高つながる市開催。

10月 地域住民との交流イベント「NCL南相馬物産展」開催。

12月 Horse Sharingプロジェクトに新メンバー着任。

2020

3月 第1回活動報告会が新型コロナウィルスの感染拡大防止のため中止。

5月 Local System Engineerプロジェクトに新メンバー着任。

8月 Community Breweryプロジェクトに新メンバー着任。

9月 中間報告会実施。

10月 NCL南相馬メンバーで東京電力福島第一原子力発電所へ視察。

11月 小高交流センター Winter Festivalで、Mobile Aroma Salon(水谷)・haccoba(佐藤・立川)がワークショップ開催・出店。

2021

3月 南相馬市の人気商品が買えるオンラインサイト「みなみそうま百貨店」がオープン。

1月~4月 3年の任期を満了し、Sufers Village プロジェクト一関 宙、Artvivaプロジェクト西山里佳、コーディネーター井上雄大が卒隊。

コーディネーターとして新規メンバーが着任

5月 一般社団法人 Horse Valueが「小高うまさんぽ」、「トレッキング」のサービスを開始。南相馬で馬に乗って楽しめる体験型アクティビティが誕生。

「haccoba-Craft Sake Brewery-」が通常オープン。haccobaのお酒や食事が楽しめるパブが小高区内に誕生。

デザイン事務所「表現からつながる家『粒粒』」が小高区桃内にオープン。

2021

6月 2020年度活動報告会開催。

8月 まちのIT屋さん「小高テック工房」が小高工房建物内にオープン。

自分だけの時間が過ごせる静かな隠れ家サロン「aroma salon SUMIRE」がオープン。

2022

1月 小高ワーカーズベースがコーディネーターとして新スタッフを採用。

2022

1月~3月 任期を満了し、Mobile Aromatherapy Salon プロジェクト水谷祐子、Local Marketerプロジェクト高田江美子が卒隊。

2022

5月

2021年度活動報告会開催。

2022

7月

「一般社団法人 Horse Value」神さんが野馬追出陣、小高郷より初陣を飾る。

2022

9月

「小高テック工房」塚本さんが、南相馬市よりCIO補佐官(DX推進アドバイザー)の職務を受嘱。

2022

10月

Handsewn Shoemaker プロジェクトに安藤文也さんが新規着任。

「haccoba -Craft Sake Brewery-」で、新スタッフ3名採用。

4年振りに開催されたおだか秋まつりに出店。

2022

7月~8月

立川さんがhaccobaから独立し「ぶくぶく醸造」を立ちあげ、新酒お披露目会を開催。

2023

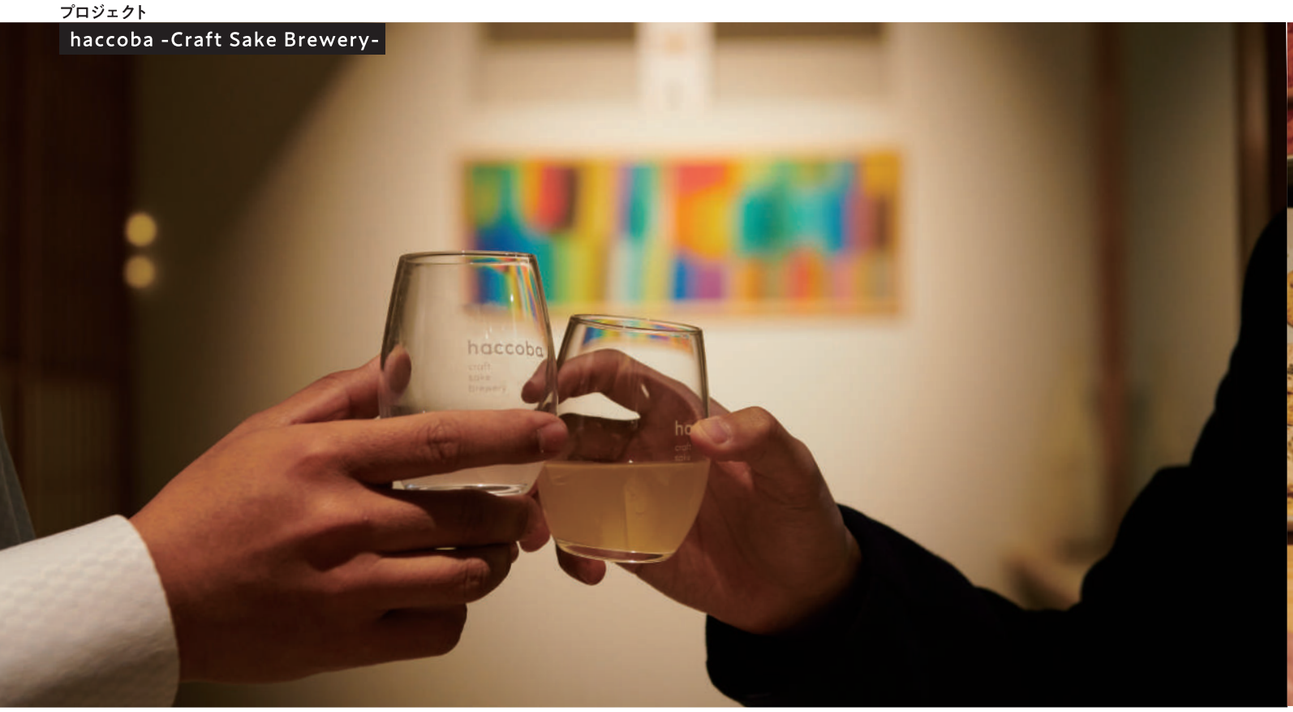
1月

Drone Art Managementプロジェクトに太向弘明さんが新規着任。

2023

3月

2022年度活動報告会開催。



Vision 目指すこと

酒づくりをもっと自由に

クラフトビールのカルチャーで
日本酒を捉え直す

Message 活動への想い

南相馬でゼロから酒蔵をつくることで、皆さんが気軽に集える場所になったり、
地元の農産物の素晴らしさを少しでも発信できたらと思い、
全力で活動してきました。
おかげさまで、2021年2月から酒づくりをスタートして約2年が経ち、
少しずつ地域の方々にも足を運んでいただけるようになってきました。
移住してきた身ですが、何不自由なく日々楽しく過ごさせていただき、
本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

ただ一方で、例えばお酒の製造量が少なすぎて買いづらかったり、
まだまだ至らない点も多々あるかと思います。
地元の酒蔵として末長く愛していただけるよう、僕たちも楽しみながら頑張っていきますので、引き続き応援や愛のあるお叱りをいただけますと幸いです。

今年は浪江町にも酒蔵をつくったり、新たな挑戦をたくさんしていく予定です。
その分たくさん失敗やご迷惑もおかけするかもしれませんが、
何卒よろしくお願いいたします。

haccoba
-Craft Sake Brewery-

佐藤太亮
さとう・たいすけ

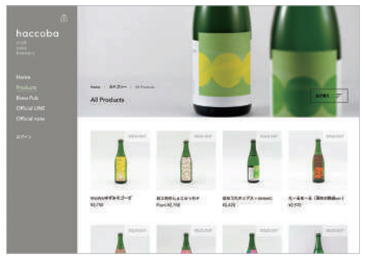
1992年3月11日生まれ。楽天やWantedlyを経てhaccobaを設立。酒づくりの修行先は、世界一美味しいと思っている新潟の酒蔵「阿部酒造」。福島浜通りで酒蔵を営みはじめたら、気候変動の課題がいつしか自分ごととなり、電力事業も始めている。

ブリューパブでの飲食提供

酒蔵に併設した飲食スペースで、ガラス張りの酒蔵を見ながらお料理やお酒を楽しんでいただけます。
haccobaのお酒はもちろん、日本酒やクラフトビール、ナチュラルワインなどもご用意しております。
また、シメの一品として女将特製のスパイスカレーもおすすめです！
※事前予約制

店頭販売

haccoba定番のお酒「はなうたホップス」や、様々なジャンルの方々とのコラボレーションを通じて、垣根を超えた酒づくりを実験している「haccoba LAB__」など、この小高の酒蔵でつくっているお酒を、酒蔵店頭で販売しています。



オンラインストア

haccobaでつくっているお酒は、オンラインストアでも販売しています。全国にお届けが可能ですので、遠くに住んでいるご家族やご友人への贈り物に、小高の地酒はいかがでしょうか。

▼オンラインストア
https://haccoba.com/

haccoba
craft
sake
brewery

haccoba, Inc.

[web] https://haccoba.com/
[mail] support@haccoba.com
[所在地] 〒979-2112
福島県南相馬市小高区田町 2-50-6

公式LINEにて、
商品の先行案内など
お得な情報を
お届けします。

プロジェクト

Horse Sharing

Vision 目指すこと

馬の社会価値を高める

事業を通じて馬と人を身近にする

Message 活動への想い

3年間を通じて様々な事業を取り組んで参りました。
その中で南相馬市を「馬と人が身近なまち」にする
という想いは変わることなく
今年6月に小高区に自社の馬小屋兼事務所が完成予定です。
また今後は南相馬を拠点に他地域への
事業展開も見据えております。
引き続き応援の程よろしくお願いいたします。

一般社団法人
Horse Value

代表理事
神 瑛一郎
じん・よういちろう

1995年新宿区生まれ。
2008年全日本ジュニア障害馬術大会優勝／2013年日韓馬術大会日本代表／2016年全日本学生馬術大会団体3位／立教大学卒業後、馬術の本場ドイツにて若馬の調教に従事。2019年帰国後に起業、乗用馬調教代行事業を開始。同年12月南相馬市に移住／2020年一般社団法人Horse Valueを設立。

小高うまさんぽ

小高の街中や烏崎海浜公園の海岸沿いを馬に乗って歩けます。
お客様の殆どが乗馬未経験者の方なので安心してお越しください。

Horse Speed Master Training

どなたでも15回のレッスンで一人で海岸沿いを走ることができます。

ウマナビ

馬とのアクティビティを心理学を用いて行うことで、自己の変容を助け、現在のお悩みを解決します。

HORSE VALUE
GENERAL INCORPORATED ASSOCIATION

一般社団法人 HorseValue

[web] https://horsevalue.jp/
[mail] horse.value2020@gmail.com
[所在地] 福島県南相馬市小高区本町1-87

WEBサイトは こちら

Vision 目指すこと

まちのIT屋さん

テクノロジーをより身近に、手軽に利用する
お手伝いをしています。
また、そのような文化を地域に根付かせ、
ビジネスとして成立させる事を目指します。

Message 活動への想い

2020年5月に着任してからあっという間にもうすぐ3年の任期を終えようとしています。コロナ禍でのスタートになりましたが、地元の皆さんのご支援にも支えられ、株式会社小高テック工房を設立、シェアオフィス運営、WEB サイト制作、ITコンサルティング、まちのIT屋さん等の事業に取り組んで来ました。事業規模はまだまだ小さなものですが、今後も事業を継続しながらデジタル人材を増やし、デジタルが身近に感じられる町、デジタルが課題解決に貢献している町の姿を目指しながら、南相馬の生活を楽しんでいきたいと思っています。

株式会社
小高テック工房

代表
塚本真也
つかもと・しんや

1971年東京生まれ。
大学卒業後、東京のIT企業を経てフリーランスのSE、スタートアップの取締役、青年海外協力隊（パラグアイ・ルワンダ）、中国・インドネシアの海外勤務等を経験し、2020年5月にNCL南相馬メンバーとして南相馬市小高へ移住。

小高工房製品のECサイト運用

小高で唐辛子製品の六次産業を営む廣畑様と連携し、小高工房製品のECサイトによる販売代理を行っています。特に新製品の柚子胡椒は人気です。他にも大蛇マークの小高ビーフカレーもとても美味しいです。ぜひお試しください。

▼オンラインストア
https://odakachilli.thebase.in/

シェアオフィス事業

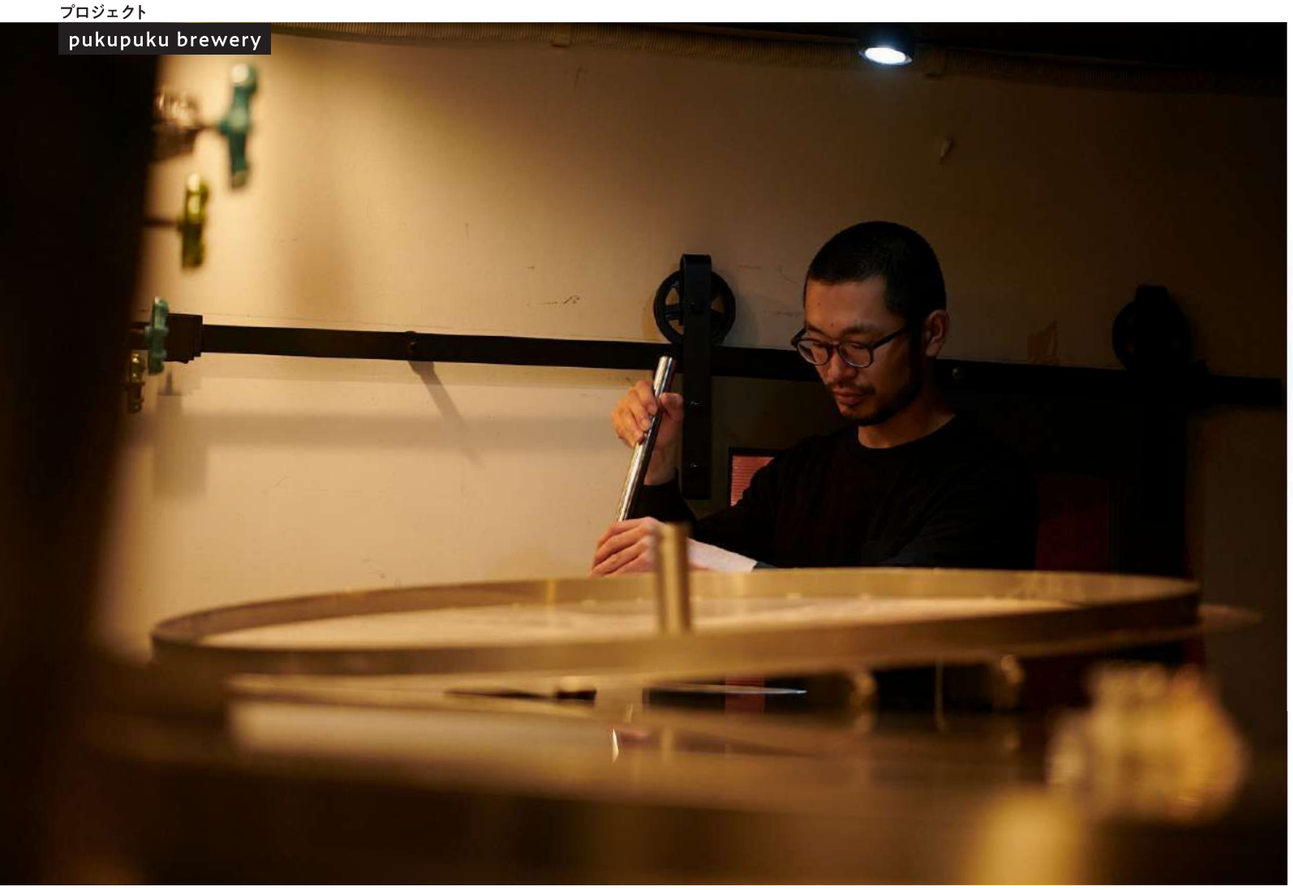
小高を社会課題を解決できるITエンジニアが集まる街にしたいと思っています。その為に東京等からITエンジニア / 企業の誘致を進めています。エンジニアの就業場所兼地元とのコミュニティスペースとして、シェアオフィス・コワーキングスペース・商談店舗を小高に構えております。

IT/DX コンサルティング

日本国内外の企業・団体に対するIT/DXコンサルティングを通じて様々なIT関連のお手伝いをしております。WEBサイト等の制作物ありきではなく、顧客ニーズに合わせた本当に必要なものを一緒に考えて行きます。連携IT企業と合同でのIT/DX相談会等も南相馬市で企画していきます。

株式会社 小高テック工房
[web] https://odakatech.com/
[mail] tsukamoto@odakatech.com
[所在地] 〒979-2112
福島県南相馬市小高区本町 1-53

Webサイトは
こちら



Vision 目指すこと

お酒を通して浜通りに田畑を増やす

クラフトビールの文化や技術を
かけあわせた日本酒をつくる

Message 活動への想い

学生時代から東北に通い始めて10年が経ち、東北での酒造りも５年が経ってしまいました。若輩者ながら、いろんな経験や失敗を積ませていただき、当時は思ってもいなかったような人生が目の前にありますが、ご縁あるみなさんのお陰で日々楽しく生きていけています。

2年半前に南相馬に移住してきた理由は「この地域に地酒をつくりたい」という一心でした。いまもその気持ちが変わらずにあることは、縁あるみなさんのお陰と思いつつ、少し誇らしくも思います。自分は酒づくりが好きで、酒づくり以外は何もできない人間ですが、きっと南相馬のお米で最高のお酒をつくりますので、ぜひ期待していてください。

ぷくぷく醸造

立川哲之
たちかわ・てつゆき

1993年生まれ。学生時代、東北にボランティアで通う中、「食と酒東北祭り」を立ち上げる。(株)ユーグレナを経て、宮城県閖上にて酒造りを 3 年学び、haccoba を初代醸造責任者として設立。2022年“ぷくぷく醸造”立ち上げ。その傍ら、酒蔵をめぐる旅（現在 627 蔵）を実施（コロナ禍で休止中）。

酒づくり

「お酒を通して浜通りに田畑を増やす」ことを目指すぷくぷく醸造は、南相馬をはじめとした浜通りのお米を全国各地の酒蔵に自ら持ち込んでお酒にしています。メインのお酒は、お米の個性を活かすためにあまり磨かない純米酒や、クラフトビールの技術を取り入れた新しい日本酒など。浜通りのお米をどこにも負けないお酒にするため、さまざまな酒づくりにチャレンジしています。

酒店での販売

ぷくぷく醸造のお酒は、地域での流通を目指しているためにネット販売はしておらず、南相馬をはじめ福島県内外の酒屋さんで販売いただいています。
【お取り扱い店】
セブンイレブン南相馬小高店（小高）、お米とお酒まつもと（原町）、矢吹酒店、古川クラ酒店（いわき）、越後屋（福島）、根本酒店（伊達）、IMADEYA GINZA SIX（東京・銀座）...etc

ぷくぷく醸造
PUKU PUKU brewing

株式会社ぷくぷく醸造
[web] https://www.instagram.com/pukupukubrewing/
[mail] pukupukubrewing@gmail.com
[所在地] 〒979-2112
福島県南相馬市小高区本町 1-87

お取扱い店はこちら

Vision 目指すこと

人生を共に歩む靴づくり

人に寄り添い、日々を豊かにする靴

Message 活動への想い

私が専門とする手縫い靴は履きこむほどに
革の表情や履き心地が良くなるよう設計してあり、
メンテナンスをしていけば 30 年は履くことができます。
現代の大量生産、大量消費はとても複雑で難しい問題ですが、
私は人生を通して愛用出来る一足の靴をつくっていきたいです。
本格的な手縫い靴産業は現在の東北にはなく、
生まれ故郷である南相馬市にこの事業を定着させ、
国内外問わず手縫い靴の魅力を発信していきます。
この事業で実績をつくり、共に働いてくれる職人を雇用し、
東北での手縫い靴の中心となる工房を目指します。

ANDO Shoemaker

安藤文也
あんどう・ふみや

1987年福島県南相馬市生まれ。10代の頃からビンテージの革靴やレザージャケットに関心を持つ。28歳で手縫い靴の勉強を開始。靴メーカーで修業を積み、独立。靴づくりの世界大会 World Championship in Shoemaking 2018で五位入選。2022年東京目黒区で開催された［8人の靴職人］に出品。2022年10月にラボメンバーに就任。2023年秋より自身のブランドの受注開始をする。

紳士革靴の受注製造

紳士革靴の受注生産、販売を行います。ハンドソーンウェルテッド製法という伝統的な手縫いの製法で靴をお仕立てます。お好みのデザインを選んでいただき、ご希望の素材、靴底の仕様で靴をお作りいたします。小高区に工房を開設いたしました。ご見学だけでもお気軽にお問い合せください。（2023年秋受注開始予定）

婦人革靴の受注製造

婦人革靴の受注生産、販売を行います。マッケイ製法というイタリア発祥の製法で靴をお仕立てます。マッケイ製法は靴をスマートに魅せることが出来る製法です。ご希望の素材をお伺いし、特別な一足をご提供いたします。（2023年秋受注開始予定）

ANDO Shoemaker
［mail］andofumiya.shoemaker@gmail.com
［所在地］〒979-2164　福島県南相馬市小高区川房字東畑 27 番地
［instagram］https://www.instagram.com/andoshoemaker/

お気軽にお問い合わせください。

新メンバー紹介！

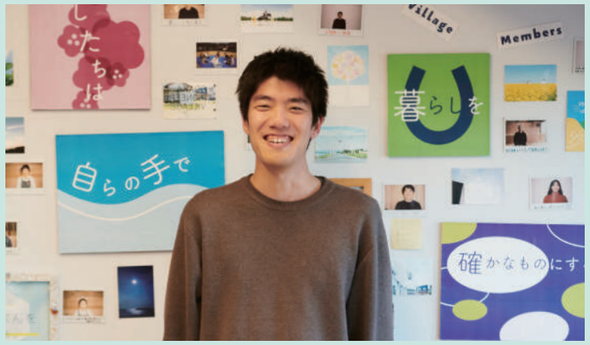
Drone Art Management

道の先の暗闇に光が灯る

太向弘明

たいこう・ひろあき

1995年 東京都世田谷区生まれ。2019年 東京大学大学院物理工学専攻修士修了後、大手電機メーカー、AIスタートアップ、アート活動、教育、コミュニティ運営等の活動を経てNCL南相馬にラボメンバーとして就任。子どものように世界で遊べるようになることが目標。



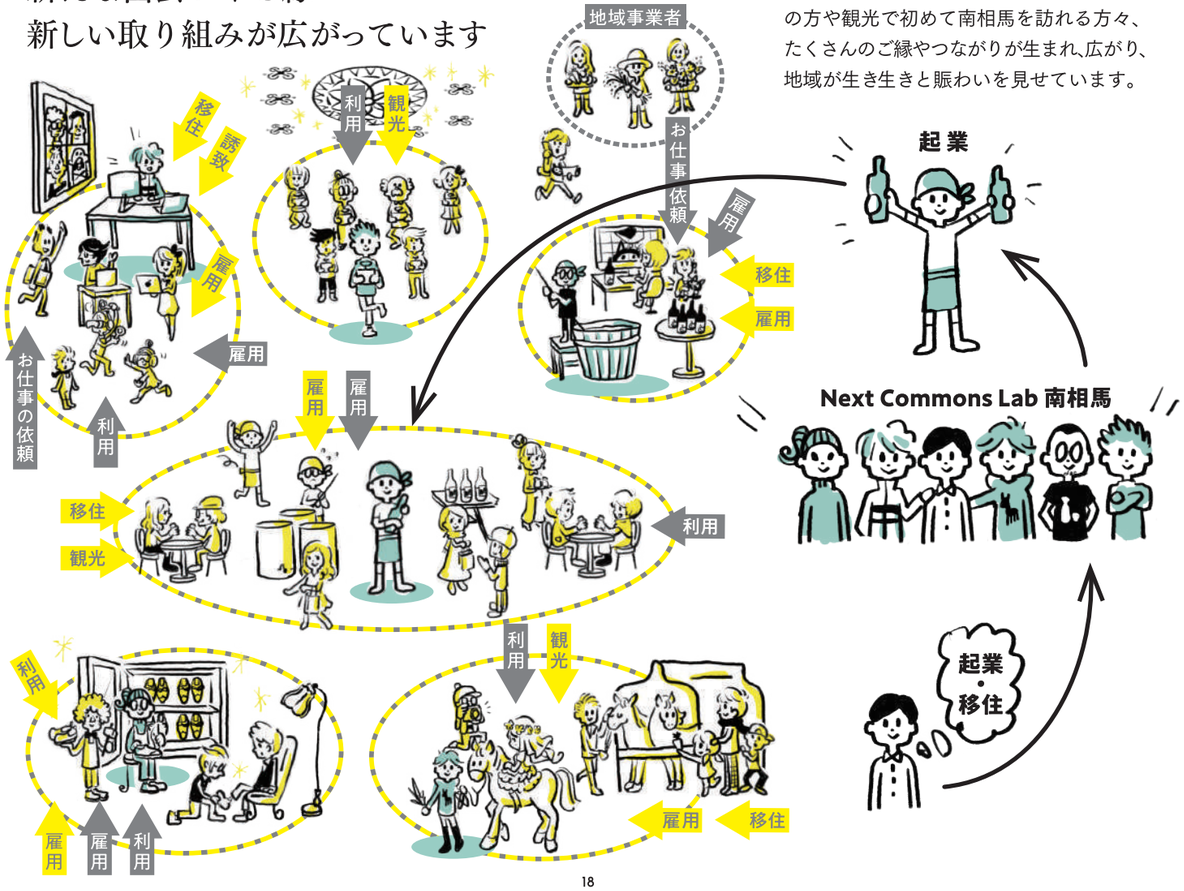
現代はかつてない物質的豊かさに満ちた生活が送れる一方で、急速な気温上昇に伴う環境危機や精神的な充足感の低下と自殺者の増加などの人道的危機など一概にも理想郷とは言えない社会を経験している事も事実です。それは人々の生活が分離、個別化し行動規則や思考規則が画一化し、どう行動し、どう生きてよいかわからない状態に陥っているのが一要因としてあるでしょう。この事業ではドローンアートという空に浮かぶ美しくて大きな“光”を皆で一緒に作り、皆で一緒に楽しむ時間を提供したいと思います。昔のように皆で集まることが難しくなった現在ですが、アートのような楽しく美しいものを通じ、皆で共に創っていくことが大変だけれどもやっぱり美しいことであることをこの事業含めたくさんの人との活動の中で一緒に実感して行きたいと思います。

そして今回南相馬の小高地区で活動を始めさせて頂くことになりました。自分は震災当時この場所にいなかったので完全には分かりえないのですが、自然と技術のありがたさと恐ろしさの矛盾に最も強く向き合った場所ではないかと思います。そのような地域で人、技術、自然が共に生きる社会をつくる試みを始められることに強い意義を感じています。

地域に広がるコミュニティの輪

eco CYCLE

メンバー１人１人の事業から新たな出会いやご縁 新しい取り組みが広がっています



見知らぬ土地に移住をして事業を始める。たった一人の決断から、それまでにはなかった人の流れや新たな雇用、地域の方との協業や連携、サービスを楽しむ地域の方や観光で初めて南相馬を訪れる方々、たくさんのご縁やつながりが生まれ、広がり、地域が生き生きと賑わいを見せています。

事務局

小高ワーカーズベース

多様なヒトやコトが交わり 新たなチャレンジが生まれる風土を育てる

多様な価値観が交差することで、どんな時代でもポジティブに変化を楽しみ柔軟に暮らしを紡いでいく人が育つ地域へ

Next Commons Lab 南相馬（以下NCL南相馬）の事務局を受託運営しております（株）小高ワーカーズベースは、2014年５月、まだ避難指示区域であった当時、「住民ゼロの状態から暮らしを再構築する」という、それまでの日本には存在しなかった課題に直面する中、『地域の100の課題から100のビジネスを創出する』というミッションを掲げ創業しました。

持続的で自立した地域社会の実現を目指し、地域により多くの人材や多様な事業を増やしていくため、南相馬市のご理解・ご協力を得てスタートしたのがNCL南相馬です。

NCL南相馬は、地域おこし協力隊という制度を活用し、地域課題を解決する起業家を呼び込み、事業を創出することを目的としています。2017年から採用を始め、これまで14人が着任しました。

最初は夢を描き語るところから始まった NCL南相馬のプロジェクトも、様々な課題に直面しながら、各メンバーひとりひとりのプロジェクトが３年間の任期期間を経て事業として少しずつ形になり、まちの事業者としてサービスを提供しはじめています。日頃からご理解・ご支援くださる地域の皆様には心から感謝申し上げます。

NCL南相馬という小さなコミュニティから、事業の独立したコミュニティの輪ができ、新たな雇用や事業、人の流れが生まれていく。そしてまた、様々な形でまちの皆様とつながって複数のコミュニティが点在し大きな輪となりまちを形成していく。

このサイクルを引き続き継続して広げていくために、今年度は、新たなプロジェクトにチャレンジする起業家の募集に力を注いできました。

毎月開催する説明会や現地懇親会には多くの方にご参加いただき、今年は新たに２名のメンバーが着任、引き続き応募を検討中の方も数多くいらっしゃいます。

見知らぬ土地に移住して起業することは、支援があるとはいえ簡単なことではありませんが、地域の方のご協力のもと多様な人材や新たな価値観を受け入れ、新旧の混じり合いを楽しむ風土を築いていくことは、地域の新たな可能性やポテンシャルを掘り起こすきっかけとなり、また、この先の未来にも訪れる様々な課題を乗り越えていけるまちの基盤・ひとづくりにつながるものと信じています。

デジタル化が進み人口減少・少子高齢化が加速するこの先の未来に、今を生きるわたしたちが残していけるもの。柔軟な発想と創意工夫で自分達の暮らしを紡いでいく風土を築いていくことが、どんな環境でも前を向きポジティブに柔軟に変化を楽しんでいける、そんな価値観や人を育て100年先の地域につながることを願い、これからも起業家をサポートしていきたいと思います。

メンバー同士で聞いてみる！
質問リレー

立川さん から 安藤さん

Q なぜ（何を思って）靴を造り続けているんですか？？

A 他者にとっても、自分にとっても、より良い靴を仕立てたいと思いながら作業しています。一足一足の経験を大事にしています。

Q 地元に戻って靴を造りたいと思った理由はなんですか？？

A 東北で手縫い靴を盛り上げたいと思ったからです。18歳で上京し、紆余曲折ありましたが、35 歳で戻ってきた私は靴をつくれるようになっていました。その能力が故郷にとって「お土産」となる日がくるよう努めてまいります。

Q 安藤さんにとっての理想の靴（つくりたいと思っている、目指している靴）はどんな靴ですか??

A 歩行の道具、工芸品、ファッション性。この三つを十二分に兼ね揃え、履いた人の日常を豊かに出来る靴です。

ぷくぷく醸造　立川哲之

ANDO Shoemaker 安藤文也

安藤さん から 神さん

Q 神さんが生まれて初めて馬に乗った時の感想（思い出）を教えてください。

A わー、でっけぇ～

Q 日常の中でのマストアイテムを一つ、理由を添えて教えてください。

A 愛馬のたてがみ。（カワイイから。）

Q 南相馬でお気に入りの場所は何処ですか。

A 宝島とはま寿司です！特にミスした時に食べるとパワーがみなぎります。

Horse Value 神瑛一郎

塚本さん から 立川さん

Q お酒作りにおける信念やこだわりのようなものはありますか？

A お米をはじめとした原料と微生物の可能性を信じて、最高にうまい液体をつくることです。

Q 今後のお酒作りのプランについて教えてください。

A 直近では、日本酒の蔵だけでなく、クラフトビールやシードルの醸造所で SAKE をつくっています。また、現在は各地の酒蔵を間借りしていますが、数年以内にもう一度、南相馬に酒蔵を立ち上げることを目標に動いています。

Q 休みの過ごし方や趣味があれば教えてください。

A あらゆる種類のお酒が好きなので、休みなくお酒を飲んで勉強しています。笑
趣味はお酒をつくることと、美味しいごはんとお酒を飲むことです。でも野球と音楽もそれなりに好きです。

佐藤さん から 塚本さん

Q 地元で塚本さんがハマっているスポットはどこですか？

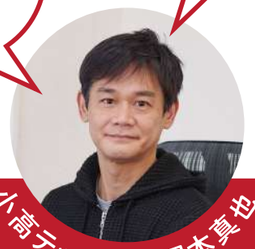
A 寒い冬はやっぱり島魚さんのとびきり燗と寄せ鍋が好きです。

Q 休みの日は何をして過ごしていることが多いですか？

A スーパーで買い物、料理、ジョギング、ゴルフの練習などして過ごしています。

Q 今年力を入れて挑戦しようと思っていることが知りたいです！

A 地元のビジネスにもっと貢献出来るよう営業も頑張りたいです。


小高テック工房 塚本真也

神さん から 佐藤さん

Q どんな事業をする予定ですか？

A （今後の展開、という意味だと捉えて）今後は、世界中に自由な酒のつくり手が増えるような活動を加速していきます！
自分たちで酒蔵を少しずつ増殖させていくのはもちろん、できる限り新たに酒蔵をつくる方々のサポートもして、酒をつくる楽しさを多くの方と共有したいです。

Q 移住する前と後での南相馬の印象を教えてください。

A 移住する前に南相馬を訪れたときと比べて、どんどん新しいお店や楽しいスポットができてきたのが印象的です！
サウナ発達で現実逃避するのが最近のお気に入りです。笑

Q 着任したキッカケを教えて欲しいです。

A 酒蔵をやる場所を考えていたときに、小高ワーカーズベースの和田智行さんの記事をネット上で見つけたのがきっかけです。
和田さんの開拓精神に惚れて、一緒にこのまちの文化を表現するような酒蔵をやりたい！と思いました！

haccoba 佐藤太亮

市民交流イベント

Next commons Lab　南相馬メンバーの活動を、より多くの南相馬市民の皆様に知っていただくため、地域のマルシェやお祭りに出店したり、各プロジェクトの「市民交流イベント」を開催いたしました。

メンバーとの交流の機会や、各事業のサービスを楽しんでいただく機会となり、
多くの方から笑顔と嬉しいコメントをいただきました。
本ページでは、それらのイベントの様子や
参加いただいた皆様のコメントをご紹介させていただきます。

Event 01

第４回小高つながる市 with わたしのcoしごとマルシェ

NCL事務局は一箱古本市スペースにフリマ形式で参加。メンバーのこだわりの詰まった本やグッズが並べられ、来場した多くの方が商品を手にとり話かけていただきました。

参加者からのコメント

ふだん体験することができない VR 体験がとても楽しかったです！なんとなく聞いたことがある地域おこし協力隊の方の活動も知れてよかった。

Event 02

おだか秋まつり 2022

NCL南相馬ブースでは、haccobaやぷくぷく醸造のお酒、HorseValueの乗馬体験など、各メンバーが自身の事業に関するサービスをご提供させていただきました！

参加者からのコメント

まちなかで馬乗体験ができ、子どもたちが喜んでおりました！はじめは馬を怖がってましたが、スタッフの方のおかげで安心して乗ることができました！

Event 03

南相馬市の中小企業、団体、個人様向け IT/DX 無料相談会

【主宰】
小高テック工房 塚本 真也

相談会では、WiFi が繋がらなくなったなど身近にある問題が次々と解決されていきました。他にもドローンの操縦体験など、最新のデジタル技術を楽しんでいただきました。

参加者からのコメント

カンタンに無料で、誰でもチラシを作成できるサイトを教えていただき、印刷の仕方まで教えていただきました！ありがとうございます！

Event 04

haccoba 感謝祭

【主宰】
haccoba 佐藤 太亮

haccobaのお酒と、谷地魚店の手巻き寿司、HorseValue神くんの本格煮干しラーメン、オムスビのドリンクなど500円で楽しんでいただきました。

参加者からのコメント

haccobaが近くにできてよかった。美味しくて、お腹いっぱいです。感謝祭とのことすが、こちらこそ感謝したい！

Event 05

ぷくぷく醸造無料試飲会

【主宰】
ぷくぷく醸造 立川 哲之

市内の飲食店向けに「ぷくぷく醸造」の各種お酒が、丁寧な解説付きで無料で振る舞われ、お酒を提供する際の説明がしやすくなった、と喜んでいただきました。

参加者からのコメント

はじめて飲むお酒でしたがどれもとても美味しく、南相馬のお米で作られているお酒と知って応援したくなりました。

Next Commons Lab

南 相 馬

Information

これまでの配布物はこちらで
データダウンロードいただけます
https://owb.jp/service/nextcommonslab/

ネクストコモンズラボ
webサイト
https://nextcommonslab.jp/network/minamisoma/

NCL南相馬
Facebook
https://www.facebook.com/nclminamisoma/

NCL南相馬
Instagram
ユーザーネーム：
ncl_minamisoma

発行元：南相馬市（担当：経済部商工労政課）
南相馬市地域おこし協力隊募集及び支援業務委託事業
受託者：株式会社小高ワーカーズベース

編集・制作：Next Commons Lab南相馬
デザイン：西山里佳（marutt Inc.）
写真：鈴木穣蔵
発行日：2022年3月

【問い合わせ】
Next Commons Lab 南相馬事務局
〒979-2124 福島県南相馬市小高区本町１－87
小高パイオニアヴィレッジ
TEL：0244-26-4665